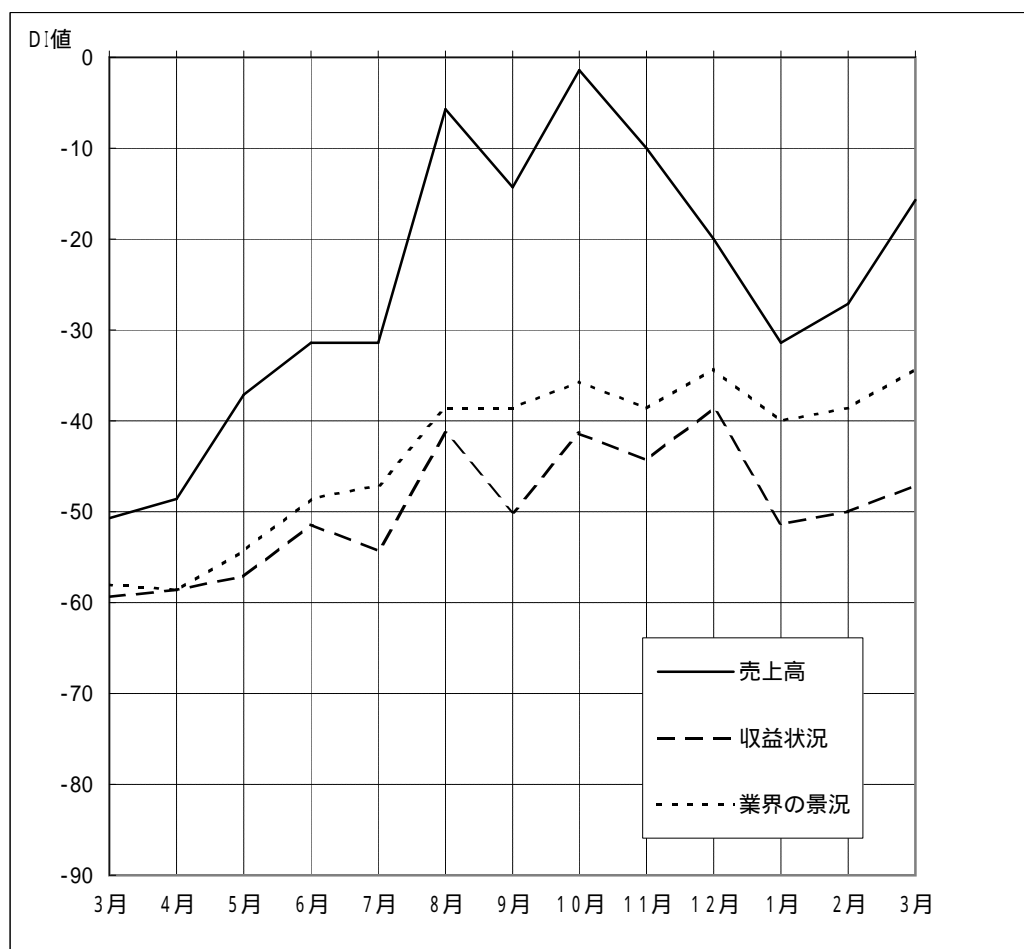


業界 業界の景気動向 (前年同月比) 全業種DI値 平成15年3月～平成16年3月

単位:ポイント



	平成15年												平成16年			
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	1月	2月	3月
売上高	-50.7	-48.6	-37.1	-31.4	-31.4	-5.7	-14.3	-1.4	-10.0	-20.0	-31.4	-27.1	-15.7			
収益状況	-59.4	-58.6	-57.1	-51.4	-54.3	-41.4	-50.0	-41.4	-44.3	-38.6	-51.4	-50.0	-47.1			
業界の景況	-58.0	-58.6	-54.3	-48.6	-47.1	-38.6	-38.6	-35.7	-38.6	-34.3	-40.0	-38.6	-34.3			

3月のDI値をみると、前月より全ての項目で好転した。「売上高」は前月より11.4ポイント改善し、マイナス10%に推移した。「収益状況」においては、2.9ポイント改善し、マイナス40%台に推移した。「景況」は前月より4.3ポイント改善し、前月同様マイナス30%台を継続中。ここ3ヶ月の傾向値をみると中小企業の業況は、緩やかだが持ち直しに向けた動きが見られる。

業種別の「景況」をみると、製造業全32種中、増加6、不変19、悪化7であり、前年同月より悪化が14減少した分、好転が4、不変が10増加した。主に「鉄鋼・金属」「一般機器」で好転した。また、非製造業では、全38種中、好転1、不変13、悪化24であり、前年同月より悪化が5減少した分、好転が1、不変が4増加した。主に「商店街」で好転及び不変の割合を増加させた。

組合の特記事項からは、全体的に製造業では、材料価格の高騰が製品価格に転嫁できず利幅を減らしているとする報告が多かった。また、全体的に非製造業においては、需要減少に加え価格競争の激化とする報告が多かった。だが、一部の商店街では、活気ある活動報告もあった。総体的に中小企業の景況は、依然として厳しく景気回復の実感は得られていない。